

パスワード回復中の標準的なブ레이크 キー シーケンスの組み合わせ

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[標準的なブ레이크 キーの組み合わせ](#)

[トラブルシューティングのヒント](#)

[ブ레이크 キー シーケンスのシミュレート方法](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、一般的なオペレーティング システムで使用する標準的なブ레이크 キー シーケンスの組み合わせと、トラブルシューティングに役立つヒントについて説明しています。

[Electronic Industries Association](#) の RS-232 ロジック レベルでは、+3 ~ +25 ボルトを使用して Space (ロジック 0) を示し、-3 ~ -25 ボルトを使用して Mark (ロジック 1) を示します。 中断信号はデータラインが指定 期間のスペース条件に残るとき、通常 100 ms です ½ 第 2 へ。文字はすべてスタート ビットで始まり、ストップ ビット (および 1 つまたは 2 つのパリティ ビット) で終わります。スタート ビットとストップ ビットのレベル状態は、常に反対です。そのため、ブ레이크信号と同じような文字の組み合わせは存在しません。中断信号はパスワードの回復が必要なとき ROM モニタ IOS® デバイスに on Cisco アクセスすることを可能にします。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

標準的なブレークキーの組み合わせ

ソフトウェア	プラットフォーム	オペレーティングシステム	キーの組み合わせ
Hyperterminal	IBM 互換機	Windows XP	Ctrl+Break
Hyperterminal	IBM 互換機	Windows 2000	Ctrl+Break
Hyperterminal	IBM 互換機	Windows 98	Ctrl+Break
Hyperterminal (バージョン 595160)	IBM 互換機	Windows 95	Ctrl+F6+Break
Kermit	Sun ワークステーション	UNIX	Ctrl+\l
			Ctrl+\b
MicroPhone Pro	IBM 互換機	Windows	Ctrl+Break
Minicom	IBM 互換機	Linux	Ctrl+a f
ProComm Plus	IBM 互換機	DOS または Windows	Alt+b
SecureCRT	IBM 互換機	Windows	Ctrl+Break
Telix	IBM 互換機	DOS	Ctrl+End
Telnet	N/A	N/A	Ctrl+] キーを押してから、send brk と入力する。
Telnet to Cisco	IBM 互換機	N/A	Ctrl+]]
Teraterm	IBM 互換機	Windows	Alt+b
端末	IBM 互換機	Windows	Break
			Ctrl+Break
チップ	Sun ワークステーション	UNIX	Ctrl+] キーを押してから、Break または Ctrl+c キーを押します
			~#
VT100 エミュレーション	Data General	N/A	F16
Windows NT	IBM 互換機	Windows	Break+F5
			Shift+F5

			Shift+6、 Shift+4、 Shift+b (^\$B)
Z-TERMINAL	Mac	Apple	Command+b
N/A	ブレークアウトボックス	N/A	ピン 2 (X-mit) を +V に 2 分の 1 秒の間、接続する。
	補助ポートに接続した Cisco 製品	N/A	Control+Shft+6 キーを押してから、b キーを押す。
	IBM 互換機	N/A	Ctrl+Break

トラブルシューティングのヒント

- パスワードを回復する際に、(Cisco 製品以外の) ソフトウェアのブレーク キー シーケンスを知らないために、問題が発生することがよくあります。上の表に掲載されていないソフトウェアや追加情報については、各ソフトウェア パッケージのマニュアルを参照してください。
- 補助 (AUX) ポートは、ルータのブート シーケンスの間、非アクティブとなります。そのため、補助ポート経由でブレークを送信しても効果はありません。コンソール ポートに接続して、次のように設定する必要があります。9600 ボーレートパリティなし8 データ ビット1 ストップ ビットフロー制御なし
- Windows NT のバージョンによっては、正しいブレーク キー信号を送信できないハイパーターミナル ソフトウェアが含まれています。ハイパーターミナル ソフトウェアの詳細とアップグレード方法については、<http://www.hilgraeve.com/hyperterminal.html> を参照してください。
- USB/シリアル コンバータ ケーブルを使用している場合は、ブレーク シーケンスが正しく送信されないことがあります。そのような場合は、別のコネクタ ポート (PS/2 など) を備えたキーボードを使用してください。

ブレーク キー シーケンスのシミュレート方法

ターミナル エミュレータがブレーク キーをサポートしていない場合や、不具合のためにターミナル エミュレータから正しい信号を送信できない場合は、ブレーク キー シーケンスをシミュレートすることにより対処できます。

注: 以前、Windows NT のハイパーターミナルは、このように動作していました。

ブレーク キー シーケンスをシミュレートするには、次の手順を実行します。

1. 次のターミナル設定を使用してルータに接続します。1200 ボーレートパリティなし8 データ ビット1 ストップ ビットフロー制御なし画面上に何も表示されなくなりますが、これは正常な動作です。
2. ブレーク シーケンスと同様の信号を生成するには、ルータの電源を再投入し (電源を一度オフにしてからオンにし)、スペースバーを 10 ~ 15 秒間押し続けます。
3. ターミナルの接続を解除し、9600 ボーレートで再接続します。これで、ROM モニタ モー

ドに入ります。

上記の手順をすべて試してもブレークを正しく送信できない場合は、別のターミナルまたは PC プラットフォームから同じ手順を試してください。

関連情報

- [パスワード リカバリ手順](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)